

たじひのだより

松原市文化財情報誌 No.2



丹南遺跡発掘調査現場全景（北より）

市内遺跡発掘調査で 相次ぐ発見!!

平成14年度も市内各遺跡で発掘調査が実施され、古代から中世に至る多くの貴重な遺構と遺物が発見されました。また発掘現場から持ち帰ってきた泥まみれの遺物を洗浄して割れていたものを

接合し、足りないところを石膏で補って、元あった形に復元していくといった遺物整理作業も着々と進む中でさらにまた新たな発見もありました。また一步、松原の歴史解明に前進です。

発掘調査レポート①

丹南遺跡 飛鳥時代の役所跡見つかる!?

丹南遺跡が所在する丹南には、中世に河内の守護代、近世には丹南藩の陣屋（前号紹介）が置かれ、平安時代に盛んになった高野山への参詣道として中高野街道が南北に、北方には東西道の竹内街道が飛鳥へと通じ、往時より交通の要衝として栄えてきました。

今回、丹南4丁目から美原町丹上にかけて老人ホームが建設されることになり、昨年の6月から9月にかけて1,800㎡について調査を行いました。周辺地域では、前号で紹介した飛鳥時代から奈良時代の交差する道路跡や掘立柱建物群跡、中世の寺院跡と思われる遺構などの発見がありました。今回の調査では、今から約1,300年程前の飛鳥時代の掘立柱建物群跡、井戸跡が発見されたことが特筆されます。掘立柱建物群跡は、南北に棟を揃えた大型の建物が10数棟、クラ跡と思われる総柱建物跡を2棟分確認しました。掘立柱建物跡の

中には東西2間（柱間2.1m）、南北3間（柱間2.7m）で、柱穴が一辺1mを超えるものもありました。

井戸跡は、掘立柱建物跡に隣接して見つかり、直径約4m、深さ4m以上の大型の井戸でした。井戸からは、井戸枳材を抜き取ったあと埋め戻しの時に供えられたと思われる土師器甕が数点出土しました。この井戸は、一時に埋め戻さずに土器などを廃棄する穴として利用されたと思われ、炭などとともにも多量の土師器・須恵器などの壺や甕、皿、高杯などが出土しました。

今回発見された建物群跡は、整然と棟を揃え、その大きさからこの地を治めていた有力者の屋敷跡か役所跡であったと思われ、古代の丹南像をより一層明らかにする発見でした。



▲井戸跡の埋土の状況

井戸跡から出土した土師器甕



◀クラ跡

発掘調査レポート②

高木遺跡 奈良時代の大アゼは条里制 施行の起源？鎌倉時代の井戸跡も発見!!

平成14年4月に、北新町4丁目地内で、分譲住宅建設工事に伴って発掘調査を行ったところ、奈良時代の水田に伴う東西方向の大きなアゼが発見されました。大アゼは幅約3mあり、その大きさや発見された位置から考えて、条里制の遺構であると考えられます。条里制は、土地を方形に区画する国家的な水田経営政策で、市内では、現在の水田地割にその痕跡をよくとどめています。その施行時期については、飛鳥時代から中世までの間で諸説がありよくわかっていませんでした。今回の発見では、少なくとも市域での条里制の施行が奈良時代まで遡ることが判明しました。また今回の調査では、底を外した曲物桶を7段積み重ねて造った鎌倉時代の井戸跡も発見されていて、奈良時代に水田であったところが鎌倉時代には集落になっていったことがうかがえます。



発掘調査レポート③

遺物整理作業で珍しい甑を復元!!

市内各所で行われた発掘調査の整理作業が着々と進む中、大変珍しい土器が今回復元されました。若林2丁目に所在する若林遺跡から出土した土師器で甑と呼ばれるものです。現場では、割れて泥まみれの破片となっていたので、その形状がよくわかりませんでした。持ち帰ってよく調べてみると、足りないところがあるものの石膏で補うことで元の形に復元することができました。甑とは、お米を蒸すときに用いられた蒸し器で、水を入れた甕の上に布を引いた甑をのせ、中にお米を入れて、竈などで炊くとお米が蒸しあがるというものです。今でいうセイロにあたります。今ではお米は炊いて食べますが、古代では、お米を蒸して食べていたのです。



◀横から見たところ
(把手が付いています)

▼下から見たところ
(穴があいています)



整理作業風景▶

発掘調査 体験会開催!!

7月に市生涯学習事業の一環として、「遺跡にふれてみよう!」をテーマに発掘調査体験学習会を行いました。



連日の猛暑でしたが子どもたちは初めて体験する大昔の暮らしにふれ暑さも忘れて古代にタイムトリップ。掘り出した土器を前に、子どもたちは古代の暮らしに思いをはせていました。



体験学習講座



本市の(財)松原市文化情報振興事業団からの依頼で「古代人になってみよう」のテーマで勾玉作りと複製した弥生土器を使って赤米、黒米を炊いて昔の食文化を体験しました。

古代食の体験では、こわごわ食べてみたり、赤米、黒米を食べなくなったのはなぜなんだろうと、昔の食文化の一端に触れたようでした。



中学生職場体験

松原第三中学校の生徒たちが、総合学習の一環として、様々な職業の一つとして文化財保護に関する仕事を体験しました。体験内容は発掘調査で出土した遺物の水洗いや今回紹介した丹南遺跡発掘調査の体験をしました。真夏の炎天下、授業で習う歴史を生徒自らが体験し古代の生活の息吹に触れたようです。

あ と が き

今年度も分譲住宅やマンション建設、その他の工事から遺跡をまもるために多くの試掘調査、発掘調査を行いました。これからもみなさんの身近なところにある遺跡やその他の文化財の情報発信に努めてまいりたいと考えておりますので、今後とも文化財保護にご協

力お願いいたします。なお文化財保護係の事務所が、平成15年4月1日から、阿保5丁目の水道局阿保浄水場西隣に移転することになりましたのでご案内いたします。(TEL・FAX番号は同じです。)

◎松原市内の文化財についてお知りになりたい方へ◎

松原市教育委員会社会教育課文化財保護係では、「松原市文化財分布図2001」を配布しています。ご希望の方は、下記本係までお問い合わせください。また市内遺跡から出土した文化財の一部をふるさとびあプラザ内の郷土資料館に展示していますので、ぜひご見学ください。